



がん免疫療法に伴う免疫関連有害事象（irAE）の病態理解を目指して

講師

京都大学大学院医学系研究科
がん免疫総合研究センター 特定准教授

塚本 博丈 先生

日時

令和6年10月4日（金）16:20～17:50（5限目）

場所

150階段講義室

対象

臨床検査学科2～4年（必須）、大学院生、教職員、卒業生、専門職の方

内容

塚本先生は、米国留学を経て免疫老化、がん免疫研究に関する顕著な業績をあげられております。がん患者検体を用いた前臨床研究にも従事される傍ら、日本臨床免疫学会のirAE研究推進委員会の委員として、実臨床に即した応用研究実装に向けた戦略的基盤の構築、組織運営等にも従事されています。本講演では、がん免疫療法が直面する課題についての研究を紹介して頂くことにより、当該研究の臨床的な意義と必要性・重要性についての理解の促進を図ります。特に有害事象（副作用）の発症機序についての研究成果を紹介して頂き、これまで座学で得た基礎知識を臨床的な理解に役立つよう深化させることを本講演の目的としています。

お問い合わせ：臨床検査学科・教授 山田武司（Rm. 454）